

花いっぱい

学校教育目標 《子どもたちに、夢・笑顔・やる気・元気を！》



「会社をつくろう」の販売活動へご支援いただき、ありがとうございました

11月23日（金）、株式会社フューチャー・ファーム・コミュニティ三重からのご支援をいただき、「朝津味」さんで、5年生と6年生の子どもたちが、「会社をつくろう」の活動で作成したオリジナル商品を販売させていただきました。

子どもたちは、お客様が見やすいように商品を並べたり、レジを中央に配置してお客様が商品を購入しやすいようにしたり、様々な工夫をしていました。また、商品ごとに仕事分担もできていて、全員が主体的に行動していました。開店準備の段階からやる気と元気がみなぎっていました。子どもたちが、がんばってきたことに自信をもっているから、見ていて感動するようなすばらしい行動ができたと思います。

午前10時、「高野尾スマイルショップ」が開店しました。この社名には、「多くの人が笑顔になってほしいから、商品と一緒に笑顔を届けます」という思いが込められています。その気持ちを持って、子どもたちは素敵な笑顔とていねいな言葉づかいで接客していました。あいさつや返事もしっかりできていました。とても頼もしく感じました。



午前11時過ぎ、多くの保護者や地域の皆様に来ていただいたおかげで、全ての商品を完売することができました。ありがとうございました。

今回の「会社をつくろう」の販売活動で71,219円の利益がありました。この金額にコスモスイメントでご寄付いただいた19,200円を合わせ、90,419円になりました。



このお金の使いみちについては、子どもたちが中心となって話し合いを重ねました。

本校が交流しているラオスのピアラー小学校に送り、子どもたちの教育に役立てていただきます。また、1年生から6年生の各クラスで必要な物や、児童会用の掲示板を購入させていただくなどの予定をしています。

皆様のご協力とご支援のおかげで「会社をつくろう」の活動ができましたことに感謝の気持ちを持って、大切にに使わせていただきます。本当にありがとうございました。

楽しかった、おいしかった「もちつき集会」

12月1日（土）、もちつき実行委員会の方々や、ボランティアの皆様にお世話になり、もちつき集会を開催できましたことをうれしく思うとともに、心より感謝申し上げます。

この「もちつき集会」のもち米づくりに向けて、4年生、5年生の子どもたちは、地域の方々からご支援いただき、田植えをしました。3年生の子どもたちは、地域の方々からご支援いただき、大豆を栽培し、収穫した大豆をいり、石臼でひいてきなこを作りました。また、6年生の

子どもたちは、地域の方々と一緒に米とぎをしました。1年生から6年生の子どもたちは、招待状を書きました。4年生、5年生、6年生の子どもたちは、保護者や地域の方々と一緒にシートを敷いたり、いすを並べたりするなど、会場の準備をしました。子どもたちは、保護者や地域の皆様と一緒に、もちつき集会を楽しめるようがんばりました。私は、子どもたちの活躍を見て、とてもうれしかったです。

もちつき集会当日、多くの方々に来ていただき、和やかな雰囲気の中、つきたてのおもちをおいしくいただきました。おもちをいただいていると、子どものころ、年末に家族でもちつきをしていたころのことを思い出し、懐かしい気持ちになりました。

おもちを食べた後、1年生から6年生の子どもたちは、もちつき体験をさせていただきました。保護者や地域の方々に教えてもらいながら、子どもたちは力いっぱいもちつきをしました。この体験を通して、子どもたちはもちをつく楽しさや大変さなど、いろいろなことを感じたと思います。ありがとうございました。

午後から、ダンスクラブの発表と、ピアリコ隊の方によるマリンバと打楽器の演奏会を行いました。とても楽しい時間を過ごすことができました。



がんばった「マラソン大会」

12月4日（火）、前日からの雨も上がり、風もなく、マラソン大会を行うことができました。見守り隊の皆様にもマラソンコースの安全確保をしていただき、子どもたちは走ることに集中することができました。また、多くの保護者の方々に応援していただきました。ありがとうございました。

11月から体育委員の子どもたちが、運動場にラインを引き、マラソン練習の準備をしました。子どもたちは、20分休みに1周目は体育委員が先頭で走り、2周目からは自分のペースで走りました。この練習を通して、体力や気力が養われていると感じました。

マラソン大会当日、1年生と2年生は、約600m、3年生と4年生は、約1000m、5年生と6年生は、約1400mを走りました。子どもたちの真剣な表情やすがすがしい笑顔を見ていると、苦しいだけではなく、走っている時やゴールに着いた時に爽快感や達成感を味わうことができたのではないかと思います。また一つ、成長した子どもたちに出会えて、うれしく感じました。



子ども人権フォーラムを開催しました

12月5日（水）、豊里中学校区の小中学校の子どもたちが、豊里中学校に集まり、子ども人権フォーラムを行いました。各小学校からは、6名の子どもたちが参加しました。反差別の仲間づくりを目指して、他校の仲間との意見交換を通し、自分を見つめ、行動する勇氣について考える機会とすることを目的に行いました。今年のテーマは、「ありのままの自分であるために」で、子どもたちは、一人一人が苦しい思いをせず、安心して過ごせる仲間づくりなど、自分自身や学級での出来事に基づき、何が良くて、何が良くなかったのかなど、真剣に考え、話し合い、判断していました。そして、これから自分が目指すことについて意見を出し合いました。

心に残る意見がたくさんありました。子どもたちの素晴らしさを感じました。